

事後評価シート

コード 8-4-1	事務事業名 街路灯整備、私設街路灯設置支援事業	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	----------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 夜間における市民の安全対策として街路灯の整備を図る。また、私設の街路灯設置後の維持管理支援を行なう。	事業の区分 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 既存街路灯のうち、防犯及び交通安全対策上必要である個所において街路灯の設置及び照度アップ化を図る。 私設街路灯に対し、維持に必要な経費(電気料金)の一部を補助する。	根拠法令等 道路法
	事業開始時期 以前から	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 要望件数に対する達成度	活動指標の考え方(定義) 市民要望のうち、必要と判断された街灯の照度アップ工事の実施
	補助要望団体数	補助金申請の団体数と補助金交付団体数
	成果指標名	成果指標の考え方(定義)
	1次 街路灯の総数	1次 街路灯設置数の前年度との比較
	1次 補助対象の街路灯数	1次 維持管理費用としての補助金交付をした街路灯数
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	13,430	19,030	17,209	13,450
	国庫支出金					
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		13,430	19,030	17,209	13,450
	所要人員(B)	人	0.23	0.31	0.2	0.22
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,903	2,582	1,637	1,801
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	15,333	21,612	18,846	15,251
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (補助要望団体数)	千円	511	304	571	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	件			33	30
	実績値	件	30	71	33	
活動指標	目標値	団体			107	107
	実績値	団体	108	107	107	
1次成果指標	目標値	基			10,729	10,830
	実績値	基	10,397	10,564	10,729	
1次成果指標	目標値	基			1,747	1,747
	実績値	基	1,736	1,763	1,747	
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	防犯事件が発生している地域からより明るくして欲しい(照度アップ化)との要望がある。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	調査中
	運営上の制約条件・ 外部要因等	街路灯設置個所の隣地が農地である場合、街路灯の灯りが農作物の生育に影響するため設置及び照度アップ化が出来ない個所がある。

コード 8-4-1	事務事業名 街路灯整備、私設街路灯設置支援事業	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	----------------------------	--------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である	▼	4
	目標の妥当性 3 市が独自に目標を定量的に設定している	▼	
	緊急性 4 今後しばらくの間、少しずつでも継続して実施する必要がある	▼	
2 市が必要とする必要性	法的義務性 2 法律・条例での規定はないが、通達や要綱・要領で実施が規定されている	▼	2 道路照明は道路構造令で技術的基準が定められているが、防犯灯としての主たる設置基準等はない。
	必要性 4 安全・安心・健康な市民生活の水準の維持に不可欠なサービスである	▼	
	民間との役割分担 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(民間・公共問わず)は確認されていない	▼	
3 内容の適切さ	ニーズ 3 市民(庁内)ニーズが明確に把握できており、ニーズに見合ったサービスである	▼	3
	規模・方法の妥当性 1 事業規模や方法は過去を踏襲しており、特に見直していない	▼	
	公平性 5 直接の対象は、すべての市民または団体である	▼	
4 実施手段の適切さ	有効性 4 現在、質・水準の改善に取り組んでおり、成果の向上が期待できる	▼	4
	効率性 5 法律上、他の実施主体を活用できない	▼	
	独自性 1 国や都、庁内に同種の目的を有する(類似・重複を含む)他の事務事業が複数ある	▼	
合計			41

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>・道路照明としての蛍光灯等は市内の道路上に設置されているが、暗くて防犯上危険であるとの要望に対し、既存街路灯の照度アップ化を含めた街路灯の整備事業を引き続き進める。</p> <p>・私設街路灯(通路及び道路上の照明)を所有する団体に対し、維持に必要な経費の一部を補助する。</p> <p>・防犯灯としての観点から再検討をする必要がある。</p>

18年度における改善点	
-------------	--

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>防犯灯としての役割を再検討するとともに、街路灯の設置基準の明確化に向けて検討を要する。</p> <p>なお、商店街の活性化については産業振興課、防犯については生活文化課との分野横断的な連携のうえ、事業の統合等の検討の必要がある。</p>
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>今後、防犯灯など道路照明の機能以上の役割を持たせることは、他自治体での設置実績等を十分に調査・検証し、適切な基準を定めて事務を進めるべきである。</p>
--------	---	---